



学校だより

平成26年6月2日
練馬区立田柄第二小学校
校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-tyky.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-tyky.ed.jp

教育目標: 元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.431

オリンピック教育推進校

副校長 垣崎 晃

2020年、東京オリンピックの開催が決定しました。6年後、どのような大会が行われるか、皆さんも楽しみになさっていると思います。また、日本でどのような「お・も・て・な・し」ができるのかと考えられていらっしゃる方も少なくないと思います。

ご承知の通り、今から50年前の1964年にもオリンピックが東京で開催されました。練馬区に競技会場はありませんでしたが、戸田漕艇場がボートレース会場になった際に笹目通りが整備されたため、当時は「オリンピック道路」と呼ばれていました。

また、開会式の10月10日は「体育の日」となり、オリンピック東京大会の輝かしい成果と感動を記念して「国民がスポーツに親しみ、健康な心身を培う日」として国民の祝日に制定されました。

「スポーツに親しむ」とはスポーツを見たり、聞いたり、読んだりすることではなく、みんなでスポーツをしようという意味です。「健康な心身を培う」ために体を動かそうという目的があるのだそうです。

このときのオリンピックはスポーツ界や人々の生活にも大きな影響を与えたようです。

オリンピックの翌年、サッカーが先頭に、バレーボール、バスケットボール、バドミントンなど多くの競技で実業団による日本リーグが発足し、トップレベルの戦力強化に貢献しました。

さらに東京オリンピックのコーチや選手だった人々が、同じくオリンピックの翌年から始めた水泳、体操などを中心とするスポーツのクラブ（スクール、教室）は、たちまち全国に波及し、幼児から家庭の主婦、中高年まで、幅広い人々が参加するようになりました。今では考えにくいですが、昔はスポーツを行う人は一部の人に限られていたようです。これを契機にスポーツ人口が増加していったそうです。

さて、東京都教育委員会では、6年後に向け、公立学校300校をオリンピック教育推進校に指定し、オリンピック教育の充実を図

っています。田柄第二小学校もその中の1校に選ばれました。

オリンピック教育推進校では、オリンピック・パラリンピックの意義や役割を理解して、積極的にスポーツに親しみ、健康増進や体力向上を目指す教育活動を展開していきます。

本校でも、オリンピックやパラリンピック歴史や理念などを学習する取り組みや参加国の方々との交流、マラソン、なわとびへの全校での取り組み、春日町サッカー大会・マラソンクラブの区大会への参加など様々な取り組みを計画しております。

これらの活動が加わることで、子供たちがさまざまな運動にふれ、運動する習慣が身についてくれることを願っています。そして「努力する喜び」や「フェアプレーの精神」、「人に対する尊敬の念」をさらに培っていくことができればと考えています。



今年度も元PTA会長の上野正巳さんが、職員玄関にさつきを飾ってくださいました。ぜひご覧ください。

